



山梨県
高橋建築舎



山梨県北杜市 《事例》 高橋建築舎 モデルハウス

片流れの屋根の下、 家族が集う大らかな空間

昨年、自社の敷地内にモデルハウスを建てた高橋建築舎。無垢材と漆喰をふんだんに使い、地元の大工や職人の手で作りあげた家には、同社のさまざまな提案が詰まっている。

写真=牛尾幹太 文=上野裕子

玄関ホールからLDKを見る。片流れの屋根がそのまま室内空間になり、空間に広がりを与える。床は無垢のナラ材。システムキッチンにはトーヨーキッチン、ペレットストーブはイタリアのRavelliのもの。



上/リビングから続く広いデッキでは、食事をしたりバーベキューをすることもできる。

下/リビングからデッキを見る。開口部から見える緑が美しい。



南側外観。庭の植栽も高橋社長が手がけた。

産地のわかる素材を生かす 大工や職人の手仕事

片流れの屋根とカーポートの下屋の取り合わせが印象的なモデルハウス。玄関ホールから一歩足を踏み入れると、想像以上に広々とした空間に迎えられる。同社の高橋敦社長が「外観を見るとコンパクトな印象を受けるみたいで、中に入って『広い!』と驚くお客さまが多いんです」と言うとおり、明るく開放的なLDKがなんとも心地よい。「プランの基本は家族が集まる場であるLDKを広くとること。部屋を細かく仕切らず、2階も吹き抜けを介して声や気配が感じられるようにしました。」

大工として東京で腕をふるった高橋社長が、八ヶ岳の麓・大泉高原を拠点に家づくりに取り組むようになって約20年。設計士である妻の晃子さんと二人三脚で、無垢の木を使った家づくりを行ってきた。高橋社長は大泉高原の魅力が「四季の変化がはっきりしているのが特徴。八ヶ岳、富士山、アルプスの山々が見えて自然が豊かだけれど、厳しすぎることはなく、暮らしやすい。子育てもしやすいと思います」と語る。

そんな同社が大切にしているのが、大工はもちろん、左官や建具など地域の職人の手仕事を大切にしたい家づくり。「いつもお願いしている大工は5人で、そのうちの一人が社員。私自身の知識や経験を伝えていくために、今後は大工の育成も視野に入れていかなければと感じています。」

シンプルで壁に映える モダンなペレットストーブ

首都圏からのアクセスがよいこと、また同社では「北杜不動産」という不動産業も営んでいることから、同社には移住希望者のお客さまが多く、土地探しから相談に乗ることもしばしばだという。「もともと別荘や移住希望者が多かったけれど、東日本大震災以降はますます増えたような気がします。年齢層は、リタイア前の50〜60代と子





上/リビング階段を上がったところは、広いフリースペース。間仕切って個室にすることも可能。下/2階の和室は4畳半。客間としても使える。



上/リビングに続く6畳の和室。襖を閉めると、和を感じる空間に。床の間の柱はツバキ。下/1階の主寝室。手前にはウォークインクローゼットを設け、収納も十分。

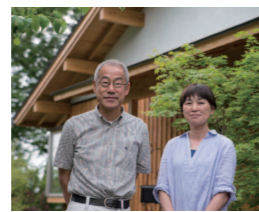


上/北東側からの外観。下屋はカーポートとして、作業場として、さまざまな用途に対応できる。下右/玄関。右手にシューズクローゼットが設けられている。下左/玄関から続くアプローチに、植栽が絶妙に配されている。



● 建築データ

- 所在地：山梨県北杜市
- 家族構成(想定)：夫婦+子ども1人
- 敷地面積：415.00㎡
- 延床面積：139.93㎡(1階103.29㎡ 2階36.64㎡)
- 竣工：2014年5月(工期2013年10月～2014年5月)
- 設計・施工：南高橋建築舎
- 構造形式：木造軸組工法
- 主な外部仕上げ：
 - 屋根＝ガルバリウム鋼板
 - 外壁＝白州そとん壁、カラマツ 軒天＝杉
- 主な内部仕上げ：
 - 天井＝杉/壁＝漆喰/床＝ナラ、マツ



高橋 敦社長と梶子さん夫妻。小さな工務店だが、その高い技術にファンが多く、東京や神奈川での家づくりを依頼されることも多い。



右/キッチンとダイニングは天井高が抑えられ、落ち着いた雰囲気。左上/ダイニングテーブルの位置に設けられた出窓。左下/ダイニングの奥には家事コーナーと広いパントリーが設けられている。

育て世代の30代に二極化していますね(高橋社長)。
 これまで同社が手がける家は構造を見せる真壁が多かったが、モデルハウスはスッキリとした印象を求めて大壁とし、手すりにアイアンワークを採用するなど、デザイン面でも新たな提案を行った。「モデルハウスは、別荘としても、定住する家としても暮らしやすく、年代も30～60代まで幅広い層に対応できることを考えました」。
 また「冬は積雪もあるし、朝晩はマイナス10℃を下回ることもあるので、暖かい家づくりは必須」とのこと。床暖房とベレットストーブを導入。「薪ストーブに憧れる方も多いのですが、薪割りの負担が大きいですので、移住希望の年配者にはあまりおすすめできません。その点ベレットストーブなら燃料の入手も扱いも簡単で、導入費用も施工費込みで60万円ほどと手軽です」。
 モデルハウスのオープンから1年。地元で暮らす若い家族がたくさん足を運んでくれ、地元のお客さまも増えて来たという。これからの目標を尋ねたところ「できることなら、同じモデルハウスを甲府あたりにもう1棟建てて、広く県内にアポールしていきたいらと思っています」と力強く語った高橋社長。今後、同社が提案する家づくりは、より広く地域に受け入れられていくことだろう。

右/大きな掃き出し窓のある浴室は開放感たっぷり。左/トイレの鏡や洗面ボウルもモダンな印象で統一。

左2点/手すりや時計などのアイアンの作品は、大泉にアトリエを構える「工房KOJI」にオーダーしたもの。右/玄関ホールの建具には、アンティークな印象のガラスをはめこんだ。

